

(月の動き方について知る)

(4)年

活動名 「月や星」

実践者 福田 真美子 柿生小学校

1.平成 18年 9月1日～9月15日 (本時9月11日)

2.ねらい

(教科)

- ・ 半月や満月の動きを比較しながら、違いや共通点を見つける。
- ・ 月の動き方について理解する。

(情報機器を使う意図)

- ・ プロジェクタを活用することで、個人ごとの観察記録を同時に皆で共有し、半月や満月の動きを比較しながら話し合いを進めることができる。
- ・ 撮影した映像を見せることで、月の動きについてより理解を深めることになる。

3.活動の流れ

活動及び取り組みの流れ	支援
月を観察したときの様子をふり返る。	
半月や満月の観察記録から、月の動きについてわかったことを発表する。	発表者の観察記録シートを液晶プロジェクタで拡大投影させる。
観察結果から、半月の動き方と満月の動き方を比較して、共通点や違いを見つけながら話し合いをする。	方角や高さなど、話し合いに大事なキーワードを伝える。
NHKデジタル教材で、月の動き方を確認する。	コンピュータの画面を液晶プロジェクタで拡大投影させる。
月の動きと太陽の動きを比較する。	3年生の学習をふり返らせる。
月の動きについてわかったことをまとめる。	
月の動きをビデオで確認する。	事前に教師が教室から撮影した月のビデオを液晶プロジェクタで投影して見せ、早送りをしながら月が動いていることを確認させる。

4.この取り組みによって、子どもにどのような変化(成果)がありましたか。

子どもたちが学習への理解をより深めるための情報機器の活用方法はないかと探って、今回の単元を設定しました。NHKデジタル教材の提示、月の動きのビデオ撮影はどちらも教師主導の情報機器活用でしたが、とても効果的だったと思います。今回はNHKデジタル教材の中の、日にちと時刻を入力するとその日時の月の形や高さが分かる動画資料を使いましたが、雨で観測がかなわなかったときや、より正確な情報を知りたいときに活用すると便利だと思いました。

またビデオでは、始めの月の位置にペンで印をつけて早送り再生をしたので、月の動き方が鮮明にわかり「おー！」という歓声があがりました。子どもたちは、月の動きを実感として理解することができたようでした。